

大曲法人会がAEDを寄贈



緊急時の対応に一役
3月28日、公益社団法人大曲法人会から仙北市にAED（自動体外式除細動器）が寄贈されました。同法人会では、平成12年から管内の小中学校や公共施設にリヤカーを寄贈していたのですが、東日本大震災を機に、人命第一を考え、AEDに切り替えました。

寄贈されたAEDは、平福記念美術館に設置されます。これから桜まつりを迎え、多くの観



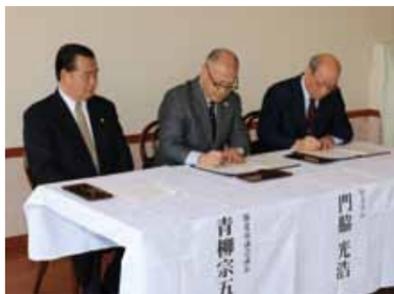
公益社団法人大曲法人会の塩谷太郎代表理事（右）から門脇市長（左）にAEDが手渡されました。

光客が見込まれます。万が一に備え、安全対策の一環として活用させていただきます。

わらび座と包括連携協定を締結



さらなる外国人誘客に弾み
3月23日、仙北市と（株）わらび座が田沢湖ビールレストランで、文化芸術を活用した地域づくりに向けた連携協定を締結しました。この協定は、文化振興や国際交流、観光振興など7項目からなり、今後は両者で連携事業の企画・立案を進めていきます。門脇市長は「わらび座は伝統芸能、文化を活かすことに優れ、芸術を経済活動に高めるノウハウがある。国際交流を



協定書にサインをするわらび座の小島克昭会長、門脇市長、青柳宗五郎市議会議員（右から）

目指す仙北市にとって世界に人脈を持つわらび座との連携は欠かせない」と話しました。

西明寺診療所の市川晋一先生に秋田県医療功労賞



秋田県医療功労賞を受賞した市川晋一先生（前列右）。

このたび、西明寺診療所の市川晋一先生に、読売新聞社より第44回秋田県医療功労賞が贈られました。この賞は、困難な環境のもとで、長年にわたる医療活動で著しい功績を収めた方に贈られるもので、市川先生の地域医療に対する貢献が高く評価されました。

角館樺細工伝承館で打掛展開催しています

華やいだ春の婚礼シーズンに向けて、江戸後期から大正時代にわたる花嫁衣装と、櫛・笄などの髪飾りといった女性が使用した道具など、絢爛かつ春らしい諸資料を展示しています。

仙北市民の皆さんは無料で、ぜひご来館ください。6月21日まで開催中です。



見やすく、読んでわかりやすいものにするため、やさしさ、柔らかさを兼ね備えた情報紙にしたいと思っ取り組まれている「きずな」は、角館公民館だより編集委員会（草薮稔代表）の6人が取材し、まとめて届けるというセレクトされた教育サービス。2か月に1回発行、印刷は5300部です。草薮代表は「6年目を迎え、A3版4ページ30号になった『きずな』は、市民のやさしいかけ橋となるため『地下水』となって地域を豊かに潤したい」と話しました。

ぬくもり届ける手書き館報「きずな」が30号到達！

市民の躍動感を伝えながら共に高め合う機縁になりたいとの願いが込められています。



仙北市の花まつり

寒い冬が過ぎ去り、いよいよ仙北市にも春がやってきました。西木町八津・鎌足のカタクリ、田沢湖刺巻のミズバショウ、角館武家屋敷のシダレザクラ、桜木内川堤のソメイヨシノが次々と咲き誇り、春の訪れを知らせてくれます。

花の見ごろ（例年の開花状況から）

カタクリ…4月中旬～5月上旬 ミズバショウ…4月上旬～5月上旬 桜…4月下旬～5月上旬
※気象条件等により見ごろは前後する場合があります。

かたくり群生の郷開園

4月9日（土）～30日（土）
西木町八津・鎌足



刺巻水ばしょう祭り

4月9日（土）～5月5日（木・祝）
田沢湖刺巻



角館の桜まつり

4月20日（水）～5月5日（木・祝）
角館町武家屋敷通り・桜木内川堤



西木町の特産品である西明寺栗の栗園に、密度・規模ともに日本最大級の薄紫色の可憐なカタクリの花が群生しています。一斉に花開くと、辺り一面を紫一色に染め上げ、美しい光景が広がります。会期序盤には福寿草の花も可愛げに咲いています。

お問い合わせ

かたくり群生の郷保存会事務局
（かたくり館内） ☎ 0187-47-3535

国道46号線沿いにあり、広いハンノキ林に囲まれた約3ヘクタールの刺巻湿原の一面にミズバショウやゼンソウが咲き誇ります。白と緑のコントラストが鮮やかなミズバショウと清らかに流れる水のせせらぎが心を和ませてくれます。

お問い合わせ

仙北市田沢湖観光情報センター
「フォレイク」 ☎ 0187-43-2111

春の武家屋敷通り沿いに、樹齢300年以上の古木や国の天然記念物に指定されているシダレザクラが彩りを添えます。桜木内川堤には、ソメイヨシノが約2キロメートルに渡って咲き誇ります。

お問い合わせ

角館の観光行事実行委員会（仙北市観光課内） ☎ 0187-43-3352
仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」 ☎ 0187-54-2700

仙北市 スポーツ賞 表彰式

3月27日、角館榊細工伝承館で仙北市体育協会（菅原陽三会長）が主催する平成27年度仙北市スポーツ賞表彰式が行われました。

式の冒頭、菅原会長が「体育協会も今年10周年を迎える。合併以来、かつてない好成績を収めていることに喜びを感じる。これからの仙北市の発展のためにも大きな目標に向かって頑張っていたきたい」とあいさつしました。式では今年度各種大会で優秀な成績を残した選手や団体、活躍された功労者など併せて43人、4団体が表彰を受けました。

表彰者は次のとおり（敬称略）

功労賞▼山部信郎（剣道）▼狐崎隆 長谷川勉（以上陸上）**指導者賞**▼安藤雅壽（卓球）▼佐藤和人（野球）**普及振興賞**▼真崎謙良（水泳）▼梅田時春、金谷孝（以上陸上）**栄光賞**▼草薨大心（剣道）▼田口満（陸上）



壇上では、今年度各種大会で優秀な成績を収めた選手や団体が表彰を受けました。

- ▼江橋勝州（陸上、ソフトボール投げ）▼西村謙一、田口清音（以上ボウリング）▼大桃克也、藤本拓也、富岡忠明（以上フライングディスク）▼日高大樹、林崎華帆、齋藤実祐（以上スキー）▼田口星奈、阿部真理（以上登山）▼佐々木千紘、渡邊恰菜（以上バレーボール）▼小木田帆南、丑澤文、高橋慎也（以上サッカー）▼島山勇輝、田川颯、木元美禪（以上空手）▼松本愛未（柔道）**奨励賞**▼門脇匠、田口慧（以上スキー）▼鈴木隆星（卓球）▼岩田晴、高橋慶多、細川大雅、田川礼、佐々木竜生、佐々木真理香（以上空手）▼三浦剛貴（バドミントン）▼鈴木勇太郎、鎌田宇朗（以上スキー）▼松本唯（柔道）
- 団体奨励賞**▼角館高校山岳部男子▼角館高校山岳部女子▼神代若鮎野球スポーツ少年団▼角館中学校野球部

せんぼくふるさとマイスター

このたび、小林清美さん（松木内字大台野間）が「建築の匠」として、せんぼくふるさとマイスターに認定されました。

小林さんは、失われつつある昔ながらの釘を使わない伝統的な工法を大切に、長年にわたって住宅等の建設に携わり、昨年オープンした食彩町家館（角館町）の建築にも関わりました。「話だけでもよいのでぜひ若い世代に古くからの技術



を伝えたい」と熱い思いを語ってくれた小林さん。興味のある方は、仙北市商工課【☎（43）3351】までご連絡ください。

せんぼくふるさとマイスターに認定された建築の匠となった小林清美さん。

社会福祉法人で初めての開園式

4月5日、社会福祉法人はなさき仙北（小林一雄理事長）が運営する幼保連携型認定こども園「神代こども園」の開園式・入園式が行われました。

社会福祉法人として初めての入園式となり、先駆けて開園式が行われました。6日には「だしのこ園」でも同様のセレモニーが行われ、たくさんの方々が参加して新しいスタートをお祝いしました。この日を楽し



みにしていた入園児童たちは、名前を呼ばれると元気な声で「はい」と返事をしていました。

社会福祉法人はなさき仙北が運営する神代こども園の開園式。関係者と園児たちによる和やかなテープカットで新しい幕開けをお祝いしました。

心の健康といのちを守る活動

大切な「いのち」呼びかける

3月29日、傾聴ボランティア「えくぼの会」の会員と仙北市職員が自殺予防の呼びかけを行いました。この呼びかけは、内閣府が推進する3月の自殺対策強化月間にちなんで行われたものです。タカヤナギワンダーモール店とよねや角館店の協力をいただき、店頭では「おとうさん眠れてる？」と印字されたトイレトパーパーやパンフレットを買い物客に配布しながら、心



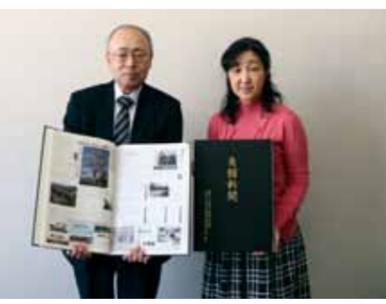
心の健康と自殺予防について、訪れる買い物客に一生命懸命呼びかけていました。

の健康と自殺予防を呼びかけました。今後もこの活動を継続的に行っていく予定です。

続・角館新聞合本を寄贈

仙北市の歩みを記録

3月10日、北のみち社（富木耐一主幹）からのご厚意により、昨年に引き続き、角館新聞（第310号〜第420号）の合本2冊を仙北市に寄贈いただきました。この書籍は、1冊が学習資料館に置かれ、自由に閲覧することが出来ます。角館新聞は、420号を最後に休刊中ですが、これまで月2回、主に角館地区での出来事などを紹介しています。今回寄贈いただいたの



は、平成23年2月から平成27年3月までの記録です。多大なるご厚意に感謝いたします。

富木耐一さんの二女・坂本佐穂さん（右）から倉橋副市長（左）に角館新聞合本が手渡されました。

第2回キッズバドミントン東北2016

3月27日、「第2回キッズバドミントン東北2016」が、宮城県仙台市体育館で行われ、市内スポーツ少年団の三浦剛貴選手（生保内小2年）が8才男子シングルス部の部で3位入賞を果たしました。



今大会で活躍し、好成績を収めた三浦剛貴君。

2015手づくり郷土賞に認定

NPO法人「癒しの溪流・里・まちネット」(田口寿宜理事長)の癒

3月25日、仙北市役所田沢湖庁舎で田口寿宜理事長（前列左から2番目）に認定証が手渡されました。

しの溪流づくり事業が、国土交通省の2015年度手づくり郷土（ふるさと）賞に選ばれました。

この賞は、国土交通省が、毎年地域の魅力創出につながる社会資本や地域づくり活動を表彰しているものです。同NPO法人は2007年に地元住民たちが設立。以来、毎年生保内川の砂防えん堤周辺で水辺や森林ウォークを実施したり、児童たちを対象に防災教育を行ったりしています。今回の受賞に田口理事長は、「とてもうれしい。今後も活動を継続していきたい」と喜びを語っていました。